

令和7年度 指定管理者評価結果シート

1.施設サービス提供

評価項目		評価	コメント
1 開設時間等	◎	A	長期連休における初期救急医療体制の確保に努めたほか、電子カルテを始めとする医療情報システムの導入にあたり、職員の業務や患者の動線等に様々な変更が生じる中、職員の事前準備や患者へのきめ細やかな案内対応により、大きなトラブルなく診療を行った。
2 適正な人員配置	◎		
3 利用者の安全確保	◎		
4 案内等の対応と接遇	◎		
5 苦情への対応等	○		
6 緊急体制	○		
7 利用実績	○		

2.事業(市の事業、自主事業)

評価項目		評価	コメント
1 目的にあったサービス提供	◎	B	通常業務に加え、医療情報システムの導入に向けた事前準備を並行して行った。また、同システムの活用により、医療の安全性の向上が図られた。
2 適正な人員配置	○		
3 情報提供・接遇	○		
4 利用者数等	○		
5 自主事業配分	○		
6 再委託	○		
7 苦情等への対応	○		
8 緊急体制・対応	◎		

3.施設の管理

評価項目		評価	コメント
1 個人情報保護	○	B	医療情報システムの導入に伴い新設された電子機器等の備品について、適切な管理を行った。 また、同システム導入作業にかかる臨時休診時には、他の救急病院による代替診療を手配し、初期救急医療体制の確保に努めた。
2 備品等の管理	◎		
3 修繕	○		
4 環境配慮	○		
5 災害等への対応	○		
6 関係団体、地域との連絡調整	◎		

4.歳入歳出

評価項目		評価	コメント
1 管理経費等の縮減	○	B	看護師によるトリアージ、発熱患者や疑い患者の診察、新型コロナウイルス感染症や季節性インフルエンザの検査などによる適切な診療報酬収入の確保に取り組み、経営改善に努めた。
2 利用者増等	○		

5.総合評価

現地調査日：令和8年7月13日

令和7年度の利用者数は39,122人で、昨年度（41,585人）から6.0%の減少となりました。

令和8年1月末より電子カルテを始めとする医療情報システムが導入されましたが、大きなトラブルなく円滑に運用を開始できたことは、事前準備や職員への研修を含めた適切な対応の成果だと考えられます。

また、夜間・休日等における初期救急医療の提供という施設の設置目的を十分に達成し、地域住民の安心確保に貢献しています。

以上の点から、指定管理者として引き続き優良であると評価できます。